

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」西区全体計画進行管理票

資料1

<基本目標1 私たちが支えあい、助けあう地域づくり>

| No | 取り組み | 取り組み内容 | 担当部署 | 目標値 (H32) | H26実績 | H27実績 (見込み) | 事務局 コメント・課題等 | 委員会 コメント・課題等 | |
|----|-----------------------------|---|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---|---|-----------------|------------------------------------|
| 1 | 地域包括ケアシステムの構築 | 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 | | モデル事業の実施 (市内26団体、西区3団体で実施) | 西区支え合いのしくみづくり会議(協議体)の設置、生活支援コーディネーターの選出 | 生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を進めていきたい。 | | |
| 2 | 高齢者を地域で支えるモデル事業 | 地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、住民組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援します。また、事業の実施にあたっては、高齢者生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の開発支援、ネットワークの構築などを推進します。 | | | 実施団体 (累計) 3団体 | 実施団体 (累計) 3団体 ※今後協議体で随時実施予定 | 住民組織やNPOなどを主体として、高齢者を地域で支えるモデル事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築につなげていきたい。 | | |
| 3 | 高齢者等あんしん見守り活動事業 | 見守り支援体制に不安を抱えている自治会に対し、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと協働で、地域の事情に合った見守り体制の構築を支援します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 西区社会福祉協議会 | 事業活用自治会 (累計) 50自治会 | 事業活用自治会 (累計) 11自治会 | 事業活用自治会 (累計) 17自治会 | 地域の見守り活動につながるよう、ご近所による見守りや声かけなど、地域でのつながりやささえ合いを支援できた。 | | |
| 4 | 孤立ゼロ作戦訪問事業 | 住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるよう、75歳以上の高齢者を訪問し、必要なサービスや情報の提供を行い、地域とつながりが持てるように支援します。 | 西区健康福祉課 地域保健福祉担当 | 介護保険サービスや民生委員・児童委員等との関わりのない全世帯を訪問 | 訪問世帯 384世帯 | 訪問世帯 408世帯 | 75歳以上の高齢者のみ世帯を訪問し、潜在的なニーズの掘り起こしと調査の分析を行い、包括など関係者と協働で支え合いの仕組みづくりを検討した。 | | |
| 5 | 子ども・子育て支援新制度の推進 | 「子ども・子育て関連3法」に基づく、幼児期の学校教育・保育や、放課後児童クラブなどの地域の子ども・子育て支援を総合的に推進します。 | 西区健康福祉課 児童福祉係 | | 保育園 1園開園 放課後児童クラブ 2施設増設 | 保育園 3園開園 放課後児童クラブ 3施設増設 病児保育 1施設開設 | 子どもたちが地域の中で健やかに育つ環境整備に努めている。 | | |
| 6 | NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施 | 子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。 | | | 参加者 50組 | 参加者 48組 | 参加者 80組 | | 育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援が図られている。 |
| 7 | 西っ子ふゆまつり | 新潟の冬を屋内で楽しく過ごしてもらうための様々な遊びや交流の場を提供し、子どもの健全育成及び子育て支援を推進します。 | | | | 参加者 3,800人 | 2/13開催予定 | | 西区の冬の一大イベントとして認知され、関係団体との連携も進んでいる。 |
| 8 | 子ども(親子)の居場所づくり | コミュニティ協議会などの地域組織による子ども(親子)の居場所づくりを支援します。 | | | 実施団体 9団体 | 実施団体 9団体 | 地域で子育てを支援する機運の醸成が図られてきている。 | | |
| 9 | 子ども学習支援事業 | 生活困窮の状況にある世帯の中学生等を対象に、週2回学習会を開催します。新潟大学と新潟青陵大学の学生スタッフとともに勉強を進め、学習意欲を高め、高校進学を促進します。 | 西区保護課 | 学習会開催 103回 参加者 延べ867人 | 学習会開催 102回 参加者 延べ955人 | 大学生の親身且つ熱心な学習支援が生徒の学習意欲や学力向上へとつながっている。なお、真に参加を必要とする生徒の掘り起こしをどうするかが課題。 | | | |
| 10 | にいがた安心ささえ愛活動支援事業 | 地域福祉計画・地域福祉活動計画にあげられた課題の解決に取り組む団体に助成します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 | 事業活用団体 3団体 | 事業活用団体 4団体 | 住民主体による福祉活動を始めるきっかけとして活用されている。補助期間終了後の事業継続が課題。 | | | |
| 11 | 区役所におけるぶれジョブの受け入れ | 障がいのある子どもたちの仕事の体験の場「ぶれジョブ」を、区役所で実施します。 | 西区健康福祉課 障がい福祉係 | 受け入れ人数 3人 | 受け入れ人数 2人 | 障がいのある子どもが仕事体験を通じて社会性を身に付けることができた。(1人あたりの受け入れ期間:6か月) | | | |

| No | 取り組み | 取り組み内容 | 担当部署 | 目標値 (H32) | H26実績 | H27実績 (見込み) | 事務局 コメント・課題等 | 委員会 コメント・課題等 | |
|----|--------------------------|--|-----------|-----------|----------------------------------|--------------------------------------|---|---|--|
| 12 | 友愛訪問事業 | ひとり暮らし高齢者等の孤独感解消や安否確認を兼ねて、地域のボランティアや民生委員・児童委員が訪問します。 | 西区社会福祉協議会 | | 実施団体 106団体 訪問世帯 1,455世帯 | 実施団体 111団体 訪問世帯 1,533世帯 | 様々な機会を利用して広報し、見守り対象の漏れをなくすため、実施団体・訪問世帯数の増を目指す。 | | |
| 13 | おせち料理配食事業 | 友愛訪問対象者（70歳以上のひとり暮らしの方など）に、12月30日に見守りを兼ねて訪問し、おせち料理を配ります。 | | | 配食数 1,656食 | 配食数 1,688食 | 友愛訪問実施団体の協力のもと、歳末時期の見守り活動として配食をしている。年々配食数も増加。 | | |
| 14 | 敬老祝会助成事業 | 75歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老祝会を実施する自治会やコミ協に対し助成します。 | | | 事業活用団体 50団体 | 事業活用団体 52団体 | 平成24年度の事業実施以来、年々波及効果により、申請自治会数が増加傾向にある。 | | |
| 15 | 地域ふれあい事業助成 | 自治会、町内会等の世代交流や高齢者等の生きがい推進につながる交流事業を助成します。 | | | 事業活用団体 67団体 121件 | 事業活用団体 63団体 122件 | 当事業を契機として、地域住民の交流活動の実施により、地域の繋がりが強化され、地域での見守り活動等への波及をねらう。 | | |
| 16 | 元気力アップ・サポーター制度 | 高齢者がサポーター活動を通じて自身の介護予防の推進と社会参加を目的としたポイント還元制の事業です。 | | | 受入協力機関 62事業所 サポーター 230人 | 受入協力機関 72事業所 サポーター 300人 | 社会参加活動に関心のある高齢者が多く、サポーター数も増えている。これから活動先の拡大に伴い、今後も広報周知を試みる。 | | |
| 17 | 地域の茶の間助成事業（ふれあい・いきいきサロン） | 身近な地域で気軽に集まり交流する居場所を支援します。 | | | 事業活用団体 50団体 | 事業活用団体 43団体 | 事業活用団体 53団体 | 地域でお茶の間を開催しようという自治会等が増えている。 | |
| 18 | 子育てサロン事業助成 | 子どもたちが一緒に遊び、交流する場、未就学の子どもを持つ親の情報交換、気分転換の場など、定期的に子育てサロンを実施している団体に助成します。 | | | 事業活用団体 12団体 | 事業活用団体 9団体 | 事業活用団体 6団体 | 申請団体数が頭打ちの状態である。事業予算の範囲内で、広報等による事業周知を検討。 | |
| 19 | まごころヘルプ事業 | 家事援助など日常生活支援を行う住民参加型のサービスです。 | | | | 会員 463人 ヘルプ時間 7,125.5時間 | 会員 450人 ヘルプ時間 7,300時間 | 平成25年度より、提供会員の高齢化等のため、配食事業を廃止。また、同年事業見直しにより、身体的介助等に伴うサービス廃止。 | |
| 20 | 歳末たすけあい事業 | 歳末に地域コミュニティで行われる世代交流事業に助成します。 | | | | 事業活用団体 61団体 | 事業活用団体 68団体 | 歳末たすけあい募金配分金を財源とした事業で団体申請が増加傾向。予算の範囲内での助成事業であるため、広報周知による新規申請団体の開拓と合わせ、助成限度額の調整が必要。 | |
| 21 | 地域交流貢献事業（出前講座） | 自治会、コミ協に職員が出向き、認知症サポーター養成講座や防災訓練などを実施します。 | | | | 開催数19回 参加者 13,000人 | 開催数13回 参加者 8,900人位 | 自治会等からの依頼により、実施。出前講座等を通して、市民力・地域力を引き出し地域づくりの推進を目指す。認知症サポーター養成講座が増えているため、他の機関とのキャラバンメイトの連携検討が必要。 | |
| 22 | 福祉教育の推進 | 小・中学校、大学、企業等からの依頼により、福祉全般に関する教育を実施します。 | | | | 利用団体 ・小学校 8校 ・中学校 4校 ・大学 1校 | ・小学校 12校 ・中学校 3校 ・専門 1校 ・大学 2校 ・ひまわりクラブ 1クラブ | 学校現場での「総合的な学習の時間」における多様な学びの中から、福祉をテーマとした支援依頼が増加している。 | |
| 23 | おもいやりのひとかき運動 | 主要な場所に除雪用のスコップを設置し、バスや信号待ちの人達から、ひとかきの除雪に協力していただく運動です。 | | | | 設置箇所 98ヶ所 | 設置箇所 99ヶ所 | 西区は、市内で最多の設置数。広報周知など今後とも新潟市と設置地区主導のなか、協力して運動を展開。 | |

<基本目標2 安心・安全に暮らせる地域づくり>

| No | 取り組み | 取り組み内容 | 担当部署 | 目標値 (H32) | H26実績 | H27実績 (見込み) | 事務局 コメント・課題等 | 委員会 コメント・課題等 |
|----|----------------------|--|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------|
| 1 | 高齢者等あんしん見守り活動事業 (再掲) | 見守り支援体制に不安を抱えている自治会に対し、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと協働で、地域の事情に合った見守り体制の構築を支援します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 西区社会福祉協議会 | 事業活用自治会 (累計) 50自治会 | 事業活用自治会 (累計) 11自治会 | 事業活用自治会 (累計) 17自治会 | 地域の見守り活動につながるよう、ご近所による見守りや声かけなど、地域でのつながりやささえ合いを支援できた。 | |
| 2 | 孤立ゼロ作戦訪問事業 (再掲) | 住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるよう、75歳以上の高齢者を訪問し、必要なサービスや情報の提供を行い、地域とつながりが持てるように支援します。 | 西区健康福祉課 地域保健福祉担当 | 介護保険サービスや民生委員・児童委員等との関わりのない全世帯を訪問 | 訪問世帯 384世帯 | 訪問世帯 408世帯 | 75歳以上の高齢者のみ世帯を訪問し、潜在的なニーズの掘り起こしと調査の分析を行い、包括など関係者と協働で支え合いの仕組みづくりを検討した。 | |
| 3 | 災害時要援護者対策 | 高齢者や障がい者、要介護者など災害時に自力で避難することが困難な方を対象として、災害時要援護者名簿を作成し、地域の自主防災組織や援護体制の整った自治会、町内会等援護する方に配布し、災害時に地域で支援する体制を確立します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 西区総務課 安心安全係 | 自主防災組織 結成率 90% | 自主防災組織 結成率 87.2% | 自主防災組織 結成率 87.3% | 災害に対する意識が高まり、自主防災組織の結成率も年々上昇している。未結成地域の援護活動が課題。 | |
| 4 | 障がい者の通所施設における夜間支援事業 | 障がい者の通所施設において、当該事業所を使い慣れた利用者が家族の急病など緊急時に限り、宿泊の利用を実施します。 | 西区健康福祉課 障がい福祉係 | | 受入可能施設 2施設 (市内で5施設) | 受入可能施設 2施設 (市内で5施設) | いざという時の家族の安心感が大きい。受け入れ可能施設を増やしていくことが課題。 | |
| 5 | 夕食宅配サービス事業 | 概ね65歳以上の方で、ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯に対し、夕食の提供と安否確認を実施します。 | | | 配食世帯 延べ161世帯 配食数 延べ2,223食 | 配食世帯 延べ159世帯 配食数 延べ2,408食 | 民間の配食業者も増え、当事業の新規利用者が減少している。今後、事業のあり方等検討が必要。 | |
| 6 | 緊急情報キット配布事業 | 70歳以上のひとり暮らし高齢者又は70歳以上の高齢者のみ世帯で健康上不安のある方を対象に、病気や服薬、緊急連絡先などを記載できる情報用紙及びそれを入れる筒を配布します。 | | 配布件数 2,000件 | 配布件数 2,417件 | 配布件数 850件 | 緊急情報キットの配布は、住民主体による見守り活動の増進を図る目的のため、自治会経由で取りまとめ、配布を依頼。 | |
| 7 | 災害に対するボランティア研修 | 災害ボランティアセンター (VC) の意義や役割を知り、立ち上げの訓練を行ったり、平常時の取り組みについて学んでもらう研修会を開催します。 | | | 開催数 1回 参加者 37人 | 開催数 2回 参加者 83人 | VCスタッフ育成のための設置訓練と、地域住民を対象にした検証訓練を実施。VC立ち上げまでの初動訓練に力を入れた。 | |
| 8 | 災害ボランティアセンターマニュアル検討会 | ボランティアセンター設置訓練を振り返り、マニュアルの見直しを行います。 | 西区社会福祉協議会 | | 開催数 3回 | 開催数 2回 | 新潟JC等の関係機関と、マニュアルの見直しを含めた「災害ネットワーク会議」を開催。平時から顔が見える関係づくりを目指す。 | |
| 9 | 日常生活自立支援事業 | 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の福祉サービス利用を援助します。 | | | 契約者 34人 | 契約者 41人 | 経年により、困難事例を抱える場面が見受けられるので、丁寧なアセスメントが必要。また、新規利用希望者数に見合う生活支援員の養成も課題。相談件数等が増加し、その対策が必要。 | |
| 10 | 生活福祉資金貸付事業 | 高齢者世帯、障がい者世帯、低所得者世帯を対象に、自立や社会参加のための資金の貸付を行います。 | | | 貸付件数 10件 | 貸付件数 5件 | 相談件数自体が大幅に減っている一方で、生活保護率は上昇傾向にあることから、本貸付事業に該当しない対象者の二極化が生じていると考えられる。 | |

<基本目標3 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり>

| No | 取り組み | 取り組み内容 | 担当部署 | 目標値 (H32) | H26実績 | H27実績 (見込み) | 事務局 コメント・課題等 | 委員会 コメント・課題等 |
|----|-------------------------|---|------------------|------------------------|-----------------------------|---|--|-----------------|
| 1 | 健康相談、健康教室事業 | 保健師、栄養士などによる各種健康相談、健康教室を実施します。 | 西区健康福祉課 健康増進係 | 参加者 延べ8,000人 | 開催数 343回 参加者 延べ7,542人 | 開催数 350回 参加者 延べ7,550人 | 課で企画した健康相談の他に、地域からも依頼があり、依頼内容に対応した教室を実施している。 | |
| 2 | ウォーキング講習会 | ウォーキングの基本的な学習と実技、継続のための工夫について学ぶ講習会です。 | | 参加者 延べ200人 | 開催数 11回 参加者 延べ219人 | 開催数 11回 参加者 延べ220人 | ウォーキングの基礎を啓発し、ウォーキング継続のきっかけとしている。 | |
| 3 | 自らすすめる健康づくり教室 | 地域団体からの依頼で出張して行う教室で、計測、食事の講義、運動実技を実施します。 | | 開催数 10回 参加者 243人 | 開催数 9回 参加者 228人 | 毎年依頼のある地区組織もある。参加者からは、食事や運動面で改善すべき点を見つけることが出来たという声が多い。 | | |
| 4 | 健康フォーラム | 食育SATシステム（栄養バランス診断）などの内容を、イベント形式で実施します。 | | 開催数 1回 参加者 88人 | 開催数 1回 参加者 143人 | 食育SATシステムを使用し、楽しみながら食育について学んでもらっており、好評である。 | | |
| 5 | 生きがい対応型通所事業（ふれあいティールーム） | 介護予防と社会参加の促進を目的とした高齢者のサロンで、茶話会を中心として様々なプログラムを実施します。 | 西区健康福祉課 高齢介護係 | 利用者 アンケート 満足度80% | 開催数 510回 参加者 4,221人 | 開催数 382回 参加者 3,232人 （12月末現在） ※平成28年3月までに利用者アンケート実施予定 | 委託先である西区社会福祉協議会と協議し、アンケートを実施。 | |
| 6 | 地域の茶の間利用者のバスツアー | 西区内の施設、または新潟市内の健康福祉に関する施設を区のバスで巡り、その後、保健師等による健康相談、介護予防教室を開催します。 | 西区健康福祉課 地域福祉係 | | 利用団体 11団体 参加者 232人 | 利用団体 15団体 参加者 331人 | 茶の間利用者の仲間づくり、交流を深める機会として活用されている。H27年度は子どもから高齢者まで幅広い世代に利用いただいた。 | |
| 7 | 高齢者の体操教室 | 地域の高齢者が利用しやすい老人憩いの家等で実施する体操教室で、自主グループの育成も支援します。 | 西区健康福祉課 健康増進係 | | 開催数 32回 参加者 297人 | 開催数 39回 参加者 331人 | H27年度より、教室終了後の自主グループも、支援している。 | |
| 8 | 高齢者転倒予防教室 | 民間委託の教室で、転びやすくなったことを自覚する65歳以上を対象とした教室です。 | | 開催数 24回 参加者 265人 | 開催数 24回 参加者 230人 | 教室終了後は、委託先の教室に継続して参加し、自主活動を実施している。 | | |
| 9 | 認知症予防教室 | 認知症予防のため、読み書き、計算など脳の活性化をはかる教室です。 | | 参加者 延べ400人 | ※H27～ | 開催数 23回 参加者 482人 | 5か月間という長期であったが、途中でやめる人もおらず、参加者の満足度も高かった。 | |
| 10 | 育児相談会 | 保健師、栄養士、歯科衛生士による育児相談会を実施します。 | | | 開催数 62回 参加者 2,080人 | 開催数 60回 参加者 2,000人 | 課で企画した育児相談の他に、地域、子育て支援センター等からも依頼があり、依頼内容に対応した相談を実施している。 | |
| 11 | イオン社協のひろば | イオン新潟青山店のコミュニティ広場を会場に、認知症、傾聴、健康、趣味、生きがいなど、様々なテーマでひろばを開催します。（毎週第3木曜日の午後） | 西区社会福祉 協議会 | | 開催数 12回 参加者数 218人 | 開催数 12回 参加者数 339人 | 人気の講座を複数回開催するなど参加者数の増に努めた。 | |

<基本目標4 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり>

| No | 取り組み | 取り組み内容 | 担当部署 | 目標値 (H32) | H26実績 | H27実績 (見込み) | 事務局 コメント・課題等 | 委員会 コメント・課題等 |
|----|---------------------------------|--|-------------------|--------------------------|---|--|--|-----------------|
| 1 | 広報紙「西区役所だより」発行 | 健康診断、各種検診のお知らせのほか、予防接種、育児相談、健康教室などの案内や公民館講座などを掲載します。点字版や音声版も毎号発行しています。 | 西区地域課 広報・広聴係 | | 毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 56,000部 | 毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 56,000部 | 「健康と福祉」欄を毎号掲載し、健康・福祉に関する情報も充実。 | |
| 2 | 西区子育て情報誌「thug kumi（はぐくみ）」発行 | NPプログラムの受講者を編集委員として、親子の居場所や子育て支援センターの情報、先輩の体験談など、子育て中に知りたい情報をまとめ、発行しています。 | 西区健康福祉課 児童福祉係 | | vol.2発行 発行部数 5,000冊 | vol.3発行予定 発行部数 5,000冊 | 子育て世代が必要としている情報を収集し、発行・情報の発信を継続していくことが課題。 | |
| 3 | NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施（再掲） | 子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。 | | 参加者 50組 | 参加者 48組 | 参加者 80組 | 育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援が図られている。 | |
| 4 | 障がい者基幹相談支援センター事業 | 地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを西区役所内に設置（西区と西蒲区所管）し、相談支援体制を強化します。（市内に4か所設置） | 西区健康福祉課 障がい福祉係 | | 支援件数 2,699件 (H26.10～H27.3) | 支援件数 4,327件 (H27.4～H27.12) | 困難ケースや複合的な課題のあるケースなどについて、総合的・専門的な相談支援を実施。 | |
| 5 | 味な西の祭 | 西区の障がい者福祉施設などが中心となって開催する地域交流イベントです。施設で作った食品や作品の販売、展示やステージ発表など、様々な企画を行います。 | | 参加団体数 18団体 | 参加団体数 17団体 | イベントを通して障がい者施設等を知ってもらい、地域との交流ができた。 | | |
| 6 | 世代間交流促進、高齢者見守り啓発事業 | 児童に高齢者に関する認識を高めてもらうため、小学校において高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座を開催します。 | 西区健康福祉課 高齢介護係 | 西区の全小学校で開催（認知症サポーター養成講座） | 開催校 3校 | 開催校 5校 | 青山小・黒崎南小・真砂小・赤塚小（H27区づくり事業）のほか新通小でも実施 | |
| 7 | 機関紙「西区社協だより」発行 | 区社協事業の紹介、イベント等を定期的に案内します。 | 西区社会福祉協議会 | | 年2回配布 (自治会経由) | 年2回配布 (自治会経由) | 平成27年度は、各自治会宛てに希望部数調査を実施し、世帯数配布または班数回覧を依頼した。 | |
| 8 | ボランティア・市民活動センター情報紙「ぼらちゃん」発行 | ボランティアに関する情報・講座開催案内などを掲載します。 | | 年3回 各2,000部発行 | 年3回 各2,000部発行 | 年3回 各2,000部発行 | 区内の官公庁、ボランティア団体、賛助会員、施設などに配布。 | |
| 9 | 新潟市高齢者あんしん相談センター西 | 介護、暮らし、保険、住まい等、高齢者に関するあらゆる悩みごとに対する相談窓口を設置します。 | | | 相談件数145件 ・来所 86件 ・電話 59件 | 相談件数250件 ・来所 145件 ・電話 105件 | 西区、西蒲区、南区を包括する広域的相談機関であることから、西蒲区、南区へも広報周知活動をしており、27年度は件数が増加。 | |
| 10 | コミュニティソーシャルワーク事業 | 制度の狭間にある世帯、複数の問題を抱える世帯等に対して、専門職との連携を進め、地域の協力を得ながら、課題解決に向け支援します。 | | | 相談件数1,081件 ・来所 420件 ・電話 612件 ・訪問 20件 ・文書等 29件 | 相談件数 950件 ・来所 325件 ・電話 600件 ・訪問 15件 ・文書等 10件 | 相談件数の把握は、平成24年度より実施。 | |
| 11 | ボランティア・市民活動相談 | ボランティア、市民活動、福祉教育の相談などに幅広く応じます。 | | | 相談件数 471件 | 相談件数 662件 | 相談件数の推移から、ボランティア活動・市民活動への関心が高いことが伺える。今後も相談窓口としての周知を進め、多様な活動内容・活動先の調査・研究などへの把握を務める。 | |
| 12 | ボランティア活動振興事業 | 福祉教育支援者交流会、受入施設研修会を開催します。 | | 開催数 2回 参加者 各50人 | 開催数 2回 参加者 89人 | 開催数 2回 参加者 85人 | 受入施設研修会は、年々多くの施設職員が参加。今後はスキルアップした内容を検討。福祉教育支援者交流会は、学校教諭の参加もあり、今後も内容を充実させ継続する。 | |
| 13 | ボランティア講座 | ボランティア入門講座、傾聴ボランティア講座、介護講座などの各種講座を開催します。 | | | 開催数 12回 参加者 215人 | 開催数 15回 参加者 126人 | 地域で活躍できる人材を育成することを目的とし、公民館と共催をし企画開催する。 | |